

令和 4 年 1 0 月 2 5 日

京都市保健福祉局

〔健康長寿のまち・京都推進室〕

健康長寿企画課

## 孤独・孤立対策の取組の現状等について

## 1 これまでの取組

- 令和 3 年 4 月 孤独・孤立対策プロジェクトチーム 設置  
(令和 3 年度中にプロジェクトチーム会議を 5 回開催)
- 9 月 孤独・孤立に関する実態調査実施 (142 団体から回答)
- 令和 4 年 3 月 孤独・孤立対策プロジェクトチーム報告書を広報発表
- 5 月 孤独・孤立対策プロジェクトチーム報告会を開催
- 7 月 内閣官房孤独・孤立対策担当室が公募する、地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム推進事業の第一次取組団体に採択
- 9 月 孤独・孤立に関する連携協定の締結 (120 団体)  
※ 本連携協定は、随時参画団体を募集

## 2 今後の方向性

- (1) 孤独・孤立に関する連携協定締結団体等へのアプローチ
- ・ 参画団体の追加募集
  - ・ 連携協定締結団体間で団体概要等の情報共有
  - ・ 本市ホームページによる情報発信 など
- (2) 地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム推進事業の推進
- ・ 支援制度・窓口を探す「京都市版」チャットボットの導入
  - ・ 連携協定締結団体等と連携した広報物の作成
  - ・ 連携協定締結団体同士の相互連携・情報共有の支援 など

## &lt; 参考資料 &gt;

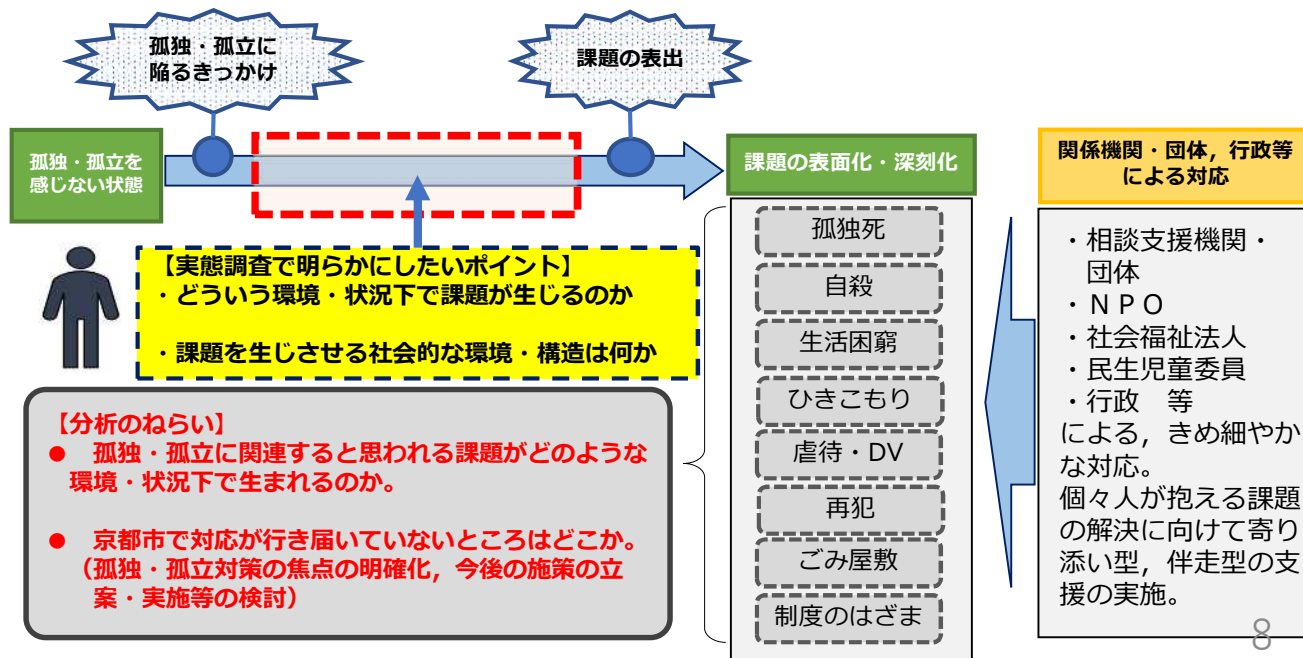
資料 1 孤独・孤立実態調査について

資料 2 孤独・孤立対策に関する連携協定締結式の実施について

## 5 孤独・孤立実態調査（令和3年9月～10月）

## (1) 概要

孤独・孤立に関連すると思われる課題に対して、現在支援を実施している関係団体等へ調査を行うことにより、孤独・孤立に陥るきっかけや、当事者を取り巻く環境（ライフステージや属性、生活環境等）を把握することで、課題が生じる要因を分析し、今後の施策の立案や実施等に生かしていく。



## 5 孤独・孤立実態調査（令和3年9月～10月）

## (2) 調査先（回答142団体）

孤独・孤立に関連する課題に対して支援を実施している団体

分類	調査先（順不同）
子ども・若者支援	子どもの居場所づくりに取り組む団体【複数】／ひとり親家庭支援センター「ゆめあす」／京都市府認定フリースクール【複数】 公益財団法人京都市ユースサービス協会／コミュニティ・スペースsacula
高齢者支援	地域包括支援センター【複数】／京都市高齢者すまい・生活支援事業実施法人【複数】
障害者支援	障害者地域生活支援センター【複数】／京都市障害者休日・夜間相談受付センター／こころのふれあい交流サロン実施団体【複数】
自殺対策	京都市こころの健康増進センター／京都自死・自殺相談センターsotto／こころのカフェきょうと（自死遺族サポートチーム）
生活困窮対策	京都市社会福祉協議会（チャレンジ就労体験事業、生活福祉資金）【複数】／NPO法人ゆい／きょうと夜まわりの会／ソーシャルサービス協会ワークセンター／京都自立支援バックアップセンター
ひきこもり支援	京都市ひきこもり支援事業補助金交付団体【複数】／「よりそい・つなぐ」相談窓口／よりそい支援員／NPO京都教育サポートセンター／東山区「不登校・ひきこもりを考える親の会」“シオンの家”
その他	特定非営利活動法人セカンドハーベスト京都／公益社団法人京都犯罪被害者支援センター／京都SARA／京都市DV相談支援センター／京都市男女共同参画センター／NPO法人QWRC（LGBTQ関連）／あんしん支援員／各区社会福祉協議会【複数】／住宅確保要配慮者居住支援法人【複数】

## 5 孤独・孤立実態調査（令和3年9月～10月）

### (3) 調査結果①

「孤独・孤立」実態調査の結果から、孤独・孤立に関連すると思われる様々な課題が、どのような環境、状況下で生まれるのか等を分析し、今後の施策の立案や実施等につなげていく必要があります。  
以下の記載においては、結果から見えてきた孤独・孤立状態にある方の状態像を簡単にまとめています。

#### 孤独・孤立に陥るきっかけ

- ・本人の心身に関すること 95%
- ・家庭に関すること 91%
- ・地域との関係 64%
- ・仕事に関すること 62%

相談者のうち、孤独  
や孤立状態にある又  
はあったと感じる  
ケース

#### 解決しない要因

- ・身近に相談できる者又は場所がない 86%
- ・心身の不調 86%
- ・自らの悩みや課題が整理できない又は課題認識がなく、自発的に相談されることがない 77%
- ・相談先がわからない 76%

#### 改善に向けて必要なこと

- ・他の支援団体との連携強化 51%
- ・社会や地域の理解 43%
- ・支援団体に対する支援施策や他の支援機関に係る情報提供 39%

#### 対応に苦慮する理由

- ・課題が複雑・複合化している 74%
- ・対応できる施策・制度がない 46%

#### 問題が表面化しない要因

- ・社会参加や支援を求めた時に、必要な情報が行き届いていない 71%
- ・地域での気づきや見守るネットワークがない又は弱い 70%
- ・支援を要する方々を把握する術がない又は弱い 65%



## 5 孤独・孤立実態調査（令和3年9月～10月）

### (4) 調査結果②

#### ○ 孤独・孤立に関すること、求められる取組等（一例）

- ・ 「孤独・孤立」を抱えている方の多くは人間関係がうまく構築できず、信頼できる他者がいない状況になっている。
- ・ 社会・文化が変化する中では、孤独、孤立の状況は生じることであると思うが、望まない孤独、孤立は避けていくべきと思う。それを防ぐためには、制度のPRが必要。
- ・ 支援者のところに「孤独・孤立」のケースとして上がってくる時は、既にその状態が長期化・深刻化している事が多いように感じる。
- ・ 孤独・孤立状態が長期に至るほど課題が多くかつ複雑になるため、解決は困難となる。早い段階から、伴走型支援を行う必要があり、そのためには、地域も含めた支援機関のネットワーク作りを一層強め、支援につなぐ必要があると感じる。
- ・ 社会全体で課題と捉える必要がある。若い世代からも、こうした課題について授業等で取扱い、意識すること、考え続けていくことが必要。
- ・ 支援者がついておらず、孤独・孤立に対して当事者が「本当は寂しい。助けてほしい」と感じているが言えない。あるいは孤独・孤立という自覚が無く、相談や解決のための判断材料がない場合など、潜在的なSOSを見逃さないためには、地域住民や自治会などの「ちょっと変だな」「どうにかしないといけない」というちょっとした心配事を相談したり、第一報として持ち込みやすい環境を整えることが必要と思われる。
- ・ 地域住民が解決しにくい・責任の持ちにくい課題を考えてくれる頼れる場としての相談先が明確であれば、地域住民も安心して不安を吐露できると思う。
- ・ 各関係機関の専門的なスキルを教示いただく場や、ケースを共有できる場が有効ではないか。

## 5 孤独・孤立実態調査（令和3年9月～10月）

### (5) 調査結果③

#### ○ 全体のまとめ

- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けて、相談件数が増加傾向にある。
- ・ とりわけ、自殺対策、生活困窮対策、ひきこもり支援において、孤独・孤立状態にある相談者の割合が高い。
- ・ 孤独・孤立に陥るきっかけとして、本人の心身に関することや、家庭に関することが9割を超える。
- ・ 解決しない要因として、身近に相談できる者又は場所がなく、心身の不調によるものが多い。
- ・ 問題が表面化しない要因として、必要な情報が行き届いていないことやネットワークがない又は弱いが多い。
- ・ 対応に苦慮をする理由として、課題が複雑・複合化しており、改善には支援団体間での連携強化が必要

(広報資料)



京都市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



健康長寿のまち・京都

令和 4 年 8 月 2 9 日  
京都市保健福祉局  
健康長寿のまち・京都推進室  
担当：健康長寿企画課  
電話：075-222-3411

## 孤独・孤立対策に関する連携協定締結式の実施について

京都市では、令和 4 年 3 月に公表した「孤独・孤立プロジェクトチーム」報告書を踏まえ、今後、孤独・孤立に関する課題に対して取り組む関係機関・団体等（以下「関係団体等」という）の横のつながりを強化することで、複雑・複合化した課題を抱える方にとっての重層的な支援体制を構築するため、関係団体等連携のもと「孤独・孤立に関する連携協定」を締結する運びとなりました。

つきましては、協定締結式を下記のとおり開催しますので、お知らせします。

### 記

#### 1 協定締結式

##### (1) 日時

令和 4 年 9 月 1 日（木） 午後 3 時～午後 3 時 3 0 分

##### (2) 場所

京都市役所本庁舎 4 階 正庁の間

##### (3) 出席者

関係団体等： 孤独・孤立問題に関する支援団体 119 団体（WEB 参加）

京 都 市： 門川 大作 京都市長

谷利 康樹 保健福祉局 健康長寿のまち・京都推進担当局長

阪本 一郎 保健福祉局 健康長寿のまち京都推進室長

##### (4) 式次第

ア 出席者紹介

イ 概要説明

ウ 協定締結、写真撮影

エ 市長挨拶

オ 意見交換等

## 2 協定の概要

現在、様々な団体等が各地域において孤独・孤立に関する課題に対して取り組まれている。複雑・複合化した課題を抱えた相談が多い中で、関係団体等の横のつながりを強化することで、より重層的な支援体制を構築することを目的として京都市を含む120の団体間で協定締結を行うもの（別紙1参照）。

<各団体同士の連携事項について>

- (1) 孤独・孤立に関連する相談対応に関すること
- (2) 状況に応じて必要な相談支援につなげること
- (3) 京都市及び各関係団体における相互連携・情報共有に関すること
- (4) その他本協定の目的達成に資すると認められる事項に関すること

協定締結後は、関係団体等の概要や連絡先を協定締結団体同士で共有することで、御相談の内容に応じた適切な支援先への御案内や、複数団体で連携して支援しやすい環境づくりを行います。また京都市情報館で支援先として各団体のHP等を掲載することを予定しています。

# 「孤独・孤立に関する連携協定」締結団体一覧

別紙 1

令和4年9月1日時点 120団体 (50音順)

嵐山こども食堂	京都市久我の杜地域包括支援センター
安養寺フリースクール	京都市こころのふれあい交流サロンにしきょう
一般社団法人京都わかくさねっと	京都市西院地域包括支援センター
一般社団法人GreenHand	京都市境谷地域包括支援センター
一般社団法人高齢者住宅支援連絡会	京都市嵯峨地域包括支援センター
一般社団法人つなぐ	京都市左京北地域包括支援センター
一般社団法人my whereabouts	京都市左京南地域包括支援センター
NPO法人NCMジャパン京都事務所	京都市山階地域包括支援センター
NPO法人京都教育サポートセンター	京都市紫竹地域包括支援センター
株式会社アイバード	京都市島原地域包括支援センター
株式会社たくみ	京都市下京西部地域包括支援センター
株式会社ホーム・ライフ	京都市下京中部地域包括支援センター
京都市	京都市下京東部地域包括支援センター
京都市嵐山地域包括支援センター	京都市下鳥羽地域包括支援センター
京都市栗田地域包括支援センター	京都市修学院地域包括支援センター
京都市岩倉地域包括支援センター	京都市修徳地域包括支援センター
京都市梅津地域包括支援センター	京都市障害者休日・夜間相談センター
京都市御池地域包括支援センター	京都市白川地域包括支援センター
京都市大原地域包括支援センター	京都市朱雀地域包括支援センター
京都市大宅地域包括支援センター	京都市成逸地域包括支援センター
京都市小川地域包括支援センター	京都市西部障害者地域生活支援センター「うきょう」
京都市音羽地域包括支援センター	京都市西部障害者地域生活支援センター「西京」
京都市桂川地域包括支援センター	京都市醍醐南部地域包括支援センター
京都市葛野地域包括支援センター	京都市醍醐北部地域包括支援センター
京都市唐橋地域包括支援センター	京都市高野地域包括支援センター
京都市勸修地域包括支援センター	京都市男女共同参画センター ウィングス京都
京都市久世地域包括支援センター	京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」
京都市沓掛地域包括支援センター	京都市中部障害者地域生活支援センター「にしじん」
京都市京北地域包括支援センター	京都市DV相談支援センター

京都市乾隆地域包括支援センター	京都市陶化地域包括支援センター
京都市常磐野地域包括支援センター	社会福祉法人市原寮
京都市南部障害者地域生活支援センター「かけはし」	社会福祉法人京都いのちの電話
京都市西京南部地域包括支援センター	社会福祉法人京都市右京区社会福祉協議会
京都市西京北部地域包括支援センター	社会福祉法人京都市上京区社会福祉協議会
京都市西ノ京地域包括支援センター	社会福祉法人京都市北区社会福祉協議会
京都市仁和地域包括支援センター	社会福祉法人京都市左京区社会福祉協議会
京都市花園地域包括支援センター	社会福祉法人京都市下京区社会福祉協議会
京都市原谷地域包括支援センター	社会福祉法人京都市社会福祉協議会
京都市東九条地域包括支援センター	社会福祉法人京都市中京区社会福祉協議会
京都市東高瀬川地域包括支援センター	社会福祉法人京都市西京区社会福祉協議会
京都市東山地域包括支援センター	社会福祉法人京都市東山区社会福祉協議会
京都市日ノ岡地域包括支援センター	社会福祉法人京都市伏見区社会福祉協議会
京都市柘野地域包括支援センター	社会福祉法人京都市南区社会福祉協議会
京都市深草中部地域包括支援センター	社会福祉法人京都市山科区社会福祉協議会
京都市深草南部地域包括支援センター	社会福祉法人京都福祉サービス協会 高齢者福祉施設 紫野
京都市深草北部地域包括支援センター	社会福祉法人京都老人福祉協会
京都市保護司会連絡協議会	社会福祉法人健光園
京都市鳳徳地域包括支援センター	社会福祉法人洛東園
京都市本能地域包括支援センター	特定非営利活動法人Queer and Women's Resource Center
京都市向島地域包括支援センター	特定非営利活動法人ハートブライト
京都市紫野地域包括支援センター	特定非営利活動法人happiness
京都市桃山地域包括支援センター	特定非営利活動法人フードバンク京都
京都市淀地域包括支援センター	特定非営利活動法人山科醍醐こどものひろば
京都市洛東地域包括支援センター	特定非営利活動法人ゆい
京都保護観察所	特定非営利活動法人若者と家族のライフプランを考える会
公益社団法人京都犯罪被害者支援センター	特定非営利活動法人Reframe
公益財団法人京都市ユースサービス協会	認定 NPO 法人京都自死・自殺相談センター
公益財団法人ソーシャルサービス協会ワークセンター	東山区「不登校・ひきこもりを考える親の会」 “シオンの家”
合同会社オフィスルピナス	フリースクールわく星学校
子育て支援団体「ママキラ☆プロジェクト」	ホームネット株式会社